



RRCJ

The Resilience Research Council of Japan

2016年度第5回セミナー（2016年11月25日）に参加いただきました皆様へ

ISO22320チェックリスト調査結果

2017年1月

一般社団法人レジリエンス協会

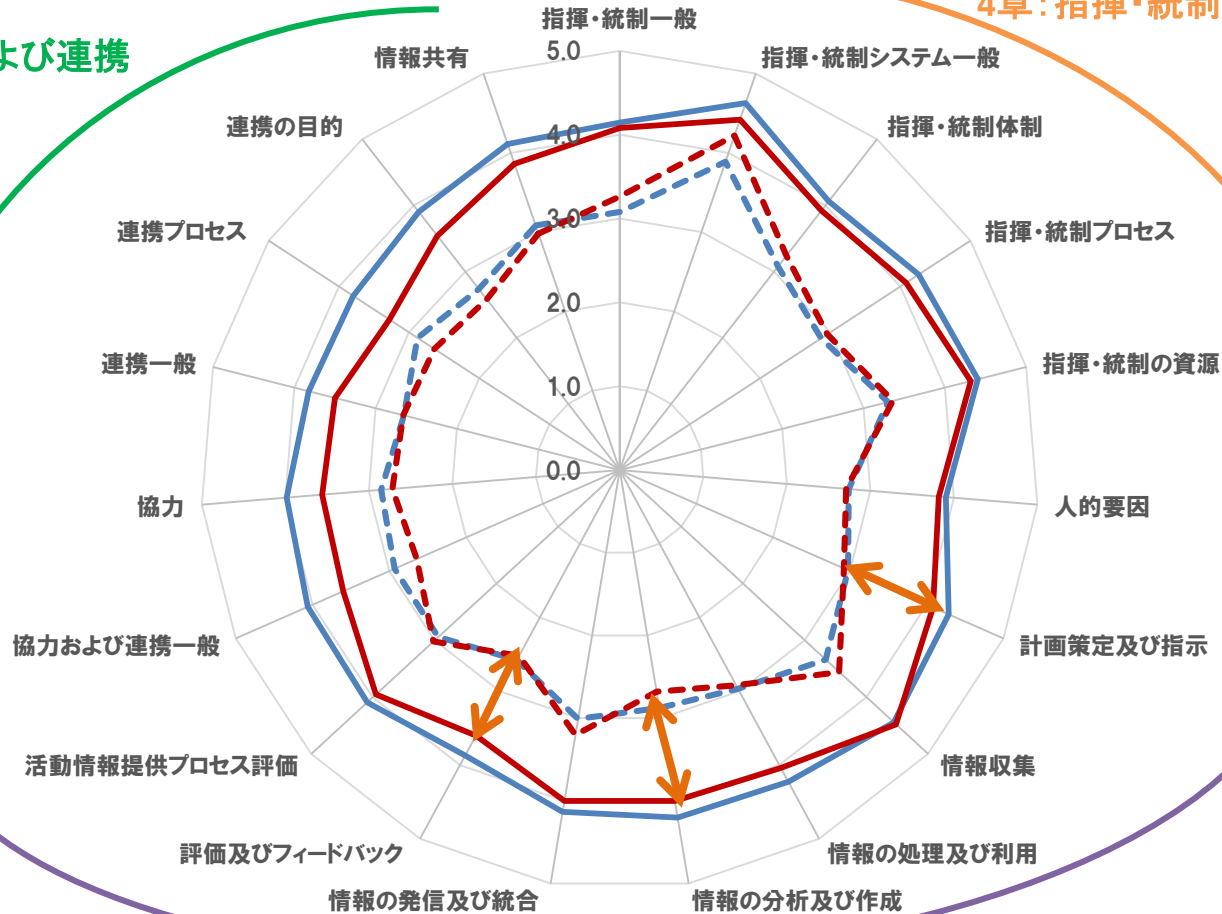
社会セキュリティ研究会

調査結果について

6章: 協力および連携

4章: 指揮・統制

5章: 活動情報



— 調査全体平均
— セミナー参加者平均

実線: 必要性
5: 高い(必須)
~1: 低い(不要)
点線: 達成度
5: できている
~1: できていない

↔ 必要性と達成度のギャップが比較的高い項目

調査結果の見方、および所見

● 見方のポイント

- 必要性が低い⇒組織にとってのリスクにならないか確認
- 必要性と達成度のギャップが大きい⇒組織の弱みになる可能性

● 今回の調査結果に関する所見

1. 協力および連携については、必要性が全体平均より低いですが達成度はそれ程の差がありません。
2. 指揮・統制システム一般については必要性と達成度の差(ギャップ)が少ないです。また指揮・統制(4章全般)についても必要性は全体平均よりも低いですが、達成度は高くしっかりとした取り組みが出来ているといえます。
3. 活動情報(5章)についても情報収集を除いて必要性は低く、中でも計画策定及び指示、情報の分析及び作成、評価及びフィードバックは達成度とのギャップが大きく、改善の検討が必要かも知れません。
4. 一方で情報収集については必要性も高く認識されており達成度も高く十分な対応がなされていると思われます。



- チェックリストの最新版、およびこれまでの調査結果は以下のWebページからダウンロードできます。

レジリエンス協会Webページ

<http://www.resilience-japan.org/>

→社会セキュリティ研究会をクリック

直接アクセスする場合はこちら

<https://resiliencej.wordpress.com/research/society/>